



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社ジー・テイスト

上場取引所 東

コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阿久津 貴史

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)稲角 好宣

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,759	△9.1	108	△65.0	209	△47.5	△279	—
30年3月期第3四半期	19,540	△3.6	310	△39.6	399	△21.1	△3	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △279百万円(—%) 30年3月期第3四半期 △3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△1.46	—
30年3月期第3四半期	△0.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,578	9,156	38.7
30年3月期	20,666	9,535	46.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,118百万円 30年3月期 9,502百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△9.3	330	△21.2	330	△38.6	△390	—	△2.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社 (社名)株式会社オーディンフーズ、株式会社タケモトフーズ、株式会社壁の穴  
除外 1社 (社名)

なお、株式会社オーディンフーズは平成30年10月1日付で株式会社テンフォーに商号変更しております。

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期3Q	197,051,738株	30年3月期	197,051,738株
31年3月期3Q	5,544,115株	30年3月期	5,710,489株
31年3月期3Q	191,425,965株	30年3月期3Q	191,341,454株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 平成31年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費の回復は足踏み状況にあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人材不足による採用費等のコストの高騰や、消費者の節約志向の高まりに加えて、地震や台風、局部的豪雨などの自然災害などの影響もあり、先行きは依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。

こうした中、当社グループでは、グループ全体としてQSCの強化を図り、さらに外食事業においては、安心、安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やFC加盟開発の強化に努めてまいりました。

当社の主要外食業態の状況といたしまして、依然、焼肉事業においては当第3四半期連結累計期間においても、引き続き堅調に推移しております。同期間において、国産牛焼肉食べ放題「肉匠坂井」業態を直営13店舗、FC1店舗出店し、12月末現在33店舗（直営27店舗、FC6店舗）となり、計画通り順調にその店舗数を伸ばしてきております。今後も積極出店を継続させ、さらにお客様にご満足を頂ける業態確立を目指していくことで、「焼肉屋さかい」とともに、焼肉事業を当社の主力事業として注力してまいります。

また、その他の事業では、引き続き居酒屋業態において業績の低迷が続いている中、商品の品質向上、お客様目線に立ったサービスの向上に努めるなど、様々な取り組みを行い業態のブラッシュアップに努めるとともに、並行して、不採算店の閉鎖を行い、来期に向けた収益の改善に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、新規出店を1店舗（宅配寿司業態1店舗）及びフランチャイジーなどからの店舗買取り等による増加1店舗、その他新規子会社化による連結子会社直営店舗の増加158店舗、フランチャイズ加盟オーナーへ2店舗の店舗売却、契約期間満了や居酒屋業態を中心とした不採算店の整理に伴い43店舗を閉店いたしました結果、外食直営店舗456店舗となりました。

なお、10月には神奈川県に海鮮居酒屋業態を10店舗展開する株式会社湯佐和を子会社化するとともに、2019年「ミシュランガイド東京」にて二つ星を獲得した「ドミニク・ブシェ トーキョー」を含む2店舗を譲受いたしました。これにより、当社グループ内における一層のシナジー効果が期待されるだけでなく、多様化する外食産業において、更なるサービスの向上と商品力強化に資するものと考えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高177億59百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益1億8百万円（前年同期比65.0%減）、経常利益2億9百万円（前年同期比47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億79百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円）となりました。

なお、前連結会計年度末において、「教育事業」を営んでいた株式会社ジー・アカデミーとNOVAホールディングス株式会社との間で締結していた教育事業（学習塾事業・英会話事業）にかかるフランチャイズ契約の期間満了に伴い、同事業から撤退いたしました。その結果、「外食事業」の単一セグメントになっているため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、235億78百万円となり、前連結会計年度末と比較し、29億12百万円増加いたしました。主な要因は、株式会社テンフォー、株式会社タケモトフーズ、株式会社壁の穴及び株式会社湯佐和を連結の範囲に含めたことによる総資産の増加によるものであります。

負債総額は、144億22百万円となり、前連結会計年度末と比較し、32億90百万円増加いたしました。主な要因は、株式会社テンフォー、株式会社タケモトフーズ、株式会社壁の穴及び株式会社湯佐和を連結の範囲に含めたことによる負債総額の増加及び当社における長期借入金（1年以内返済予定含む）が増加したことによるものであります。

純資産額は、91億56百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3億78百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月14日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,791,880	5,718,583
受取手形及び売掛金	298,329	824,298
商品及び製品	88,727	74,566
仕掛品	1,349	4,246
原材料及び貯蔵品	225,374	339,239
その他	804,642	940,499
貸倒引当金	△11,171	△44,974
流動資産合計	8,199,132	7,856,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,666,024	4,999,724
土地	4,193,952	4,215,419
その他(純額)	411,058	543,167
有形固定資産合計	8,271,034	9,758,311
無形固定資産		
のれん	22,388	1,415,021
その他	164,149	163,669
無形固定資産合計	186,537	1,578,691
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,173,650	3,407,681
その他	1,291,592	1,426,860
貸倒引当金	△455,227	△449,191
投資その他の資産合計	4,010,015	4,385,350
固定資産合計	12,467,588	15,722,353
資産合計	20,666,720	23,578,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	811,799	1,173,134
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	637,488	899,344
1年内償還予定の社債	708,000	908,000
未払法人税等	60,959	79,184
引当金	51,584	149,650
資産除去債務	19,833	89,681
その他	1,770,895	2,055,445
流動負債合計	4,360,560	5,804,439
固定負債		
社債	1,726,000	1,902,000
新株予約権付社債	1,988,768	1,993,070
長期借入金	1,640,007	3,076,210
関係会社長期借入金	-	15,760
退職給付に係る負債	35,761	94,690
引当金	-	1,558
資産除去債務	823,187	989,310
その他	557,372	545,598
固定負債合計	6,771,096	8,618,196
負債合計	11,131,656	14,422,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,809,823
利益剰余金	1,377,565	1,002,698
自己株式	△817,424	△793,601
株主資本合計	9,502,466	9,118,919
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	32,598	37,256
純資産合計	9,535,064	9,156,176
負債純資産合計	20,666,720	23,578,812

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	19,540,425	17,759,748
売上原価	7,134,944	5,807,538
売上総利益	12,405,481	11,952,209
販売費及び一般管理費	12,094,783	11,843,391
営業利益	310,697	108,817
営業外収益		
受取利息	4,829	4,683
受取配当金	490	439
業務受託料	50,977	42,701
受取補償金	70,764	43,489
受取解約金	11,270	7,891
受取保険金	6,507	61,566
その他	37,465	26,281
営業外収益合計	182,304	187,053
営業外費用		
支払利息	23,324	26,957
貸倒引当金繰入額	-	△19,187
支払手数料	45,254	54,337
その他	25,323	24,043
営業外費用合計	93,903	86,150
経常利益	399,099	209,720
特別利益		
固定資産売却益	14,189	12,926
新株予約権戻入益	902	-
特別利益合計	15,092	12,926
特別損失		
固定資産売却損	671	3,891
固定資産除却損	17,068	27,367
店舗閉鎖損失	48,467	122,063
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7,479	118,820
減損損失	37,804	98,852
特別損失合計	111,491	370,994
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	302,699	△148,347
法人税、住民税及び事業税	48,517	44,307
法人税等調整額	257,954	86,541
法人税等合計	306,471	130,849
四半期純損失(△)	△3,772	△279,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,772	△279,196

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△3,772	△279,196
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△3,772	△279,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,772	△279,196
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1 四半期連結会計期間より、新設した子会社株式会社敦煌及び株式会社テンフォー（当社が同社株式を100%取得）をそれぞれ連結の範囲に含めております。

第2 四半期連結会計期間より、株式会社タケモトフーズ（当社が同社株式を100%取得）及び株式会社壁の穴（当社が同社株式を92.51%取得（当第3 四半期連結会計期間における追加取得により、当社が同社株式を100%取得））をそれぞれ連結の範囲に含めております。

当第3 四半期連結会計期間より、株式会社湯佐和（当社が同社株式を100%取得）を連結の範囲に含めております。

このうち、株式会社テンフォー、株式会社タケモトフーズ及び株式会社壁の穴は、当社の特定子会社に該当いたします。

(追加情報)

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1 四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。